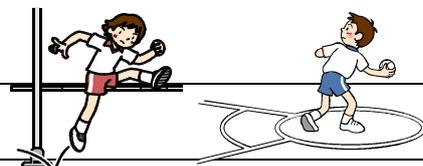


磐崎小学校だより

いわき市立磐崎小学校 文責： 校長 圓谷 貴



陸上競技大会、頑張った6年生

6月26日(水)、小学校陸上競技大会第3ブロック大会が、いわき市営陸上競技場で行われました。第3ブロックは、小名浜・常磐方部の6年生1000名以上が集まる大きな大会です。6年生の子どもたちは、今まで続けてきた練習の成果を十分に発揮して、一生懸命取り組みました。子どもたち一人ひとりのそれぞれの目標の達成に向けて、よく取り組んできたと思います。陸上競技場で競技するのも大変貴重な体験です。多くの良い体験・経験を積み重ね、子どもたちには心身ともに大きく成長して欲しいと願っています。



授業参観、お世話になりました。

7月5日(金)の授業参観ではお忙しいところ、ご来校いただき誠にありがとうございました。子どもたちはお家の方々頑張っている様子を見ていただくのを心待ちにしていました。この日の午前中は、各行政機関合同での通学路点検、七夕集会、ベルマーク整理と給食試食会が行われ、午後には学級懇談会や救急救命講習会が実施されるなど、盛りだくさんの一日となりました。多くの方々子どもたちの教育に様々な形で関わっていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

子どもたちの様子 (SNS・ネット利用について)



先日ご協力いただきました「SNS・ネット利用についてのアンケート」の概要がまとまりました。本校でSNS・ネットを利用している児童は全体の76%でした。平日1~2時間未満利用しているのは69%、3時間以上の利用は17%、休日では32%にもなります。また、ルールを決めていない32%、ルールを守っていない43%、トラブルに巻き込まれたのは7%もありました。トラブルの内容は、悪口を書かれた(書いた)6件、仲間はずれにされた(した)7件、ネットを通じて知らない人に会った3件などもありました。学校ではSNS・ネットの利用状況をチェックすることはできません。買い与えているのは保護者ですので、フィルタリングや約束毎の確認、そしてトラブルの未然防止など、日頃からのご指導をよろしく願います。

ワンポイントアドバイス④ ~トラブルについて~

今回は、児童間のトラブルについて考えます。
 まだ発達途上の子どもたちですので、学校生活や通学途中などにおいて、ケンカやトラブルを起こすことがしばしば見受けられます。子どもたちの性格や行動は、それぞれの家庭で培われてきたものであり、文化・習慣の違いがあることから、集団の中ではぶつかり合うこともよくあります。
 学校は社会の縮図とも言えますので、集団の中でお互いに我慢をしたり、折り合いをつけたりしながら、少しずつ社会性を身につけ、しだいに成長していきます。
 学校でトラブルが起きた場合、発達段階に応じて双方から話を聞き取り、事実確認をします。周りの子たちからも話を聞いて、お互いの言い分を確認していきます。そして、それぞれの子どもたちに自分の行動を振り返らせ、指導していきます。お互いに納得がいくよう、そしてこれからどうすればよいかを話し合わせるようにしていきます。
 ここで気をつけなければいけないのは、片方の言い分のみを真に受けてしまうことです。保護者は、我が子の言い分のみを聞くこととなりますので、叱られないようにするために自分に都合のいい説明をする場合があります。後で双方から話を聞くと、事実と全く違うということもよくある話です。
 学校では、中立の立場で話を聞くと共に、人格を否定することのないよう注意しながら、間違った行動そのものを叱り、説諭します。(障害のある子の場合は悪意なく行う場合もあるので叱り方に注意。)
 結果的に、相手に怪我をさせたとか弁償せざるを得ない事例の場合には、保護者に連絡して相手方に一報を入れていただく場合もあります。しかし、ほとんどの場合、どちらにも少なからず非がある場合がほとんどですので、その事実を保護者にご連絡させていただき、その後の対応は、保護者同士にお願いするようになります。
 良い対応ができれば、子どもたちも良い方向に変わっていくでしょう。保護者の対応そのものが、子どもたちのモラルや行動を育てる規範(教科書)となっているのです。
 学校では、引き続き、子どもたちの指導をしっかりと行って参ります。

